岐阜県 中小企業情報

2009 9

VOL.599

■発　行：2009年9月25日

2009 飛騨・高山　暮らしと家具の祭典

目　次

特集号「組合まつり」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2～5
中央会の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
組合等の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6～7
８月の景況調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8～9
飛騨支所だより／中央会レディースクラブ通信・・・・・・・10
会員組合紹介／組合Q＆A・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
先進組合事例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
専門家' e y e・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
中央会事業の予定表（10月～３月）・・・・・・・・・・・・・・・・14
事務局だより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
商工中金岐阜支店からのお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

［発行所］
岐阜県中小企業団体中央会
岐阜市薮田南５丁目１４番５３号　岐阜県県民ふれあい会館 ８階
TEL 058-277-1100（代）　FAX 058-273-3930
URL http://www.chuokai-gifu.or.jp

特集号　組合まつり

◆基調講演

【テーマ】　「人工衛星プロジェクト～本命ミッションは人づくり～」

【講　師】　東大阪宇宙開発協同組合　理事　竹　内　　修　氏

■はじめに

中小企業が集まり2002年12月に組合を設立して“夢を打ち上げよう”を合言葉にスタートした東大阪の人工衛星プロジェクトは、ついに今年１月22日に「まいど１号」の打ち上げに成功しました。その裏には不況にあえぐ東大阪を若者の集まる元気な町にしたいという夢があったのですが、打ち上げまでには様々な紆余曲折がありました。

プロジェクトが具体的に進むにつれ、幾つかの問題が表面化し、去る者あり、残る者ありと、幾度か危機に直面したこともありました。学校や会社もこのプロジェクトに参加してくれたのですが、夢だけでコンセプトがないため、情熱を持った若者がどうしていいかわからないのです。夢を掲げるだけでは何も進んでいきません。設立して半年後には、当初のメンバーの約８割が辞めてしまい、空中分解寸前でした。

■プロジェクトに足らないもの

私は組合設立メンバーでありません。後から仲間に入ったのですが、一部を横から見てきたという所がありまして、立ち上げ当初からこのプロジェクトに足りないものが３つあると感じていました。最も強く感じたのは『コンセプトがない』ということです。何の目的でどんな手段でどのように絵を描いていくのかが明確にありませんでした。コンセプトがないと何をするのかはっきりしないため目的が不明確な状態が続きます。どんな機能を作ろうとしているのか、何を改善しなければならないのかが見えてこないのです。例えば、自動車でどこへ行くか決めずに恐る恐る運転している間にいつのまにか道に迷ってしまい危険な目にあったなんてことがありますが、やはり目標がないと上手くいきません。目標と方向性さえ示されていれば、高速道路で一気に突っ走れます。場合によっては、目的地が決まっていれば石に乗り上げるなどといった危険に挑戦してでも目標に向かって走っていけるのです。次に『設計図がない』ことです。細部にわたっての綿密な計画不足によるものです。目的を達成するためには計画を立てて着実に実行していかなければ上手くいきません。もう一つは『覚悟がない』ことです。プロジェクトをやるのであれば覚悟がいる。ところが東大阪は下請けの企業が多いので最終責任は親企業が取ってくれるケースが圧倒的です。だから、責任を取る覚悟が薄くなるのだと思います。周囲の雑音に流されることが多く、言われたことしかしないという印象を受けました。しかし、これらのことは、東大阪に足りないものというよりも、多くの技術者に足りないものだと思っています。

■夢とホラの違い

“何でもある東大阪”と言われておりますので、私は「国語辞典の町、東大阪」とも言っています。国語辞典とはどういうことか。我々の使う日本語は、国語辞典の中に単語として全部入っています。それをつなぎ合わせて文章にするわけです。その組み合わせ方によって文学賞も芥川賞もいただけるわけです。単語がいくつあってもそれをどのように結合してどう自分を表現していくか。これがなければ単なる国語辞典です。ですから単語を組み合わせて表現するように、夢を打ち上げるにはコンセプトや考え方を持たなければいけません。

“夢を打ち上げよう”皆さんもちょっと考えて見て下さい。夢とホラはどこが違うでしょうか。私は夢とホラの違いを勝手に決めました。ホラも夢も最後の目的は同じだと思います。最後はこんなことをしたいっていう点においては。でも、それがホラだったらそこからは何も進んでいきません。しかし、夢は違います。例えばお母さんが「うちの息子にはイチローや松坂のようになりたいという夢がある」と良く言いますよね。でも、その息子さんが１日中家でゴロゴロしていたらホラになってしまいませんか。本当にイチローや松坂のようになりたいのであれば家でゴロゴロせずに練習するでしょ。時間がもったいないと思うでしょ。人工衛星プロジェクトも一緒です。人工衛星を打ち上げるためには毎日することが山のようにあるのです。しかも夢にはトキメキがあるのです。夢を叶えたいという思いがなければ駄目だと思います。

■若者を育てる

私は自分の会社で技術者が基礎知識を学習する体制づくりを行いました。技術伝承のあり方について考える取り組みも進めています。では、匠の技術とはどういうものなのでしょうか。技術はどんどん自動化し、機械化されています。しかし、機械化できない技術はたくさんあります。これが匠の技であり伝承していかなければならないのです。また、時代の流れと共に自分を変えていくことが必要です。郷愁（過去のものや遠い昔にひかれる気持ち）を捨てることができれば大きな力が出ると思います。

私は人工衛星を作るプロセスで若者を育てようと思いました。若者たちは会社まで辞めてくるのですから情熱一杯です。情熱、学歴、ＩＱ、体力、どれをとっても若者には及びません。若者に勝るものは経験ですが、経験へのこだわりが害になることもあり、一概には強みとは言えません。つまりオッチャンには強みが殆どないのです。それではオッチャンが人を育てるために何が出来るでしょうか。それは、若者がベストを尽くせる環境を整えてその状態で放っておくことです。そうすると上手くいかないことも出てきます。その時に恥をかいたり責任をとったりするがオッチャンの役目です。若者は次第に覚悟を持って仕事に取り組むことができるようになっていきます。

若者は「何故こんなことをやらないといけないのか」と言います。我々の組合ではこうした投げやりな言い方を変えて「何のためにこれをするのか」という言い方に変えました。こうすることで、思考は未来に向かいます。

そして、結果だけを重視するのではなく、そのプロセスで情熱やトキメキを体感じる事が生き甲斐だと思っています。成功失敗に関わらずプロジェクトが終わった時涙を流せる程の情熱を込めよう。終わった後で涙を流せないような仕事はするなよと思っています。

これからも、若者は宇宙の全てに思いを揺るがしながら、実現可能なアイデアにベストを尽くし、そして見栄をはらずに自分の気持ちを正直に表現して欲しいと思います。

■私の願い

人を育てると言いましたが、私自身もたくさんの先生に育ててもらいました。無茶苦茶なことや無理難題を押し付けられたりしたことは、先生が私達のことを本当に考えていてくれたからだということをこの歳になってひしひしと感じます。先生達は、私に決して迎合せずに、自分の信じることを貫いて押しつけてこられました。そうしたことを経て今の私はここにあるのだと思っています。

現在の若者たちによって、東大阪がクリエイティブな若者を育てる街になってくれることを願っています。そして私も、明日を、未来を、自分で引き寄せて、今からこれやろう、明日あれやろう、こんな思いで毎日を過ごしたいなと思っております。

何十年か先に東大阪は私が夢を見ている場所になってくれることを願っています。

組合等の成功事例発表
「私たちは、こんなふうに頑張っている！」

【テーマ】「環境保全とビジネスの両立 ～間伐材利用の新たな可能性～」
【発表会】　間伐材製品開発協同組合　専務理事　小見山与志夫　氏

■業界の現状

“間伐材”という言葉を一度は耳にされたことがあると思います。昔から使われていますが、最近は特にクローズアップされている言葉です。昨年行われた洞爺湖サミットでも間伐という言葉が使われていたと記憶しています。世間は「環境」ということで騒がれていますが、日本における地球温暖化対策を語る上で必ず出てくるキーワードの一つです。

日本はご存じのとおり非常に山が多い国で、その中でも岐阜県の森林率は８割となっており、国内トップクラスの山国です。戦後の建築ラッシュに伴って多くの木が伐採され、材料として有効利用されてきましたが、一方で沢山の禿げ山が出来た時代がありました。こうした状況で国の施策はお金をかけて植林や手入れをし、切り出すためにまた補助金を出すということの繰り返しでした。１ドル＝３６０円体制が崩壊し日本の円が強くなってきた時代に、木材の自由化が進み海外から安い木材が輸入されるようになると、輸入材を扱った会社がどんどん大きくなり、日本で林業を営んでいた事業者はどんどん廃れていくという構図に変わりました。時代とともに輸入の形も変化し、近年では原木の輸入から単板や合板その他加工品にしたものが増えてはじめ、原木を加工していた事業者の仕事も減少してきています。

間伐材というといらなくなった木材に聞こえるかもしれませんが、多大な費用がかかっています。育った木を一度に丸刈りすればコストを抑えられますが、間伐材は質が低い上に木を選んで伐採して運び出すわけですから、手間も費用もかかります。山に行くと置き去りにされた木を見たことがあると思いますが、多くのお金が使われて間伐されたものの、質の割りにコストが高くなりすぎて市場では流通しないため、放置されているのです。そこで、我々はこれを利用できないかと思い、組合を立ち上げて試行錯誤しながら色々やってきたのですが、節や虫食いその他加工に不適切な要素が多く、選別作業にコストがかかり、大きな商売にすることがむずかしいと考えました。

■組合で取り組んできたこと

数年前に県庁から知事室や県議会事務局の応接セットを作ってくれないかとの大変嬉しいお話をいただきました。また、ある市からの発注で県産材を使ってロッカーを作ったこともあります。最近、新聞等で報じられご存じの方もいるかもしれませんが、セイホクという大手合板メーカーがございます。県内に大きな合板工場を作るとのことで業界では注目されている会社です。実は数年前に我々がセイホクに県内の木を合

板にして市場に流せないかとの提案を行いました。合板工場は輸入材が中心ですので、港に近いというのが常識だったのですが、岐阜県の森林面積は全国第５位であることから、なんとか本県に工場をと働きかけを行ってきました。すると企業誘致政策の観点から古田知事も勢力的に動かれ見事誘致に成功し、来年秋の稼働に向けて進んでいます。今年度の県の予算を見ても林業関係は５５億３千万円が付き、うち３８億円が工場設置等の予算に充てられています。これだけの岐阜県としてのプロジェクトに先鞭をつけ、実現に協力できたことは大きな喜びですし、大きな自信にもなりました。しかし、現在の経済状況は大変厳しく、合板会社も非常に苦しんでいます。岐阜県の林業の衰退による原材料の供給問題もさることながら、間伐材をこの大型工場で合板にしても、今後の需要があるのかと心配な部分もありますが、県産材の利用という側面からも、林業界と行政が一体となって頑張っていかなければならないと思っています。

■組合の今後の活動

今、我々が注目しているのは「エコスクール」です。国でも注目するようになり、補助金などもあるようです。木の分野から地球環境についてメッセージを発信していければと思っています。

木は何十年もかけて育て、切った木を乾燥させて建築部材などの製品になっていきます。木を育てるお金は全て山持ちが負担しなければならず、製品になってからでないとお金が回収できないという問題があり、キャッシュフローが重要になってきます。金融機関の協力が必要なのは勿論ですが、この辺りを既存の組合も含め、各組合同士の連携で解決できないかなと思っています。

山の間伐を行うことは自然災害から守るという別の側面も持っています。木の根がしっかり張ることで土砂崩れ等の災害防止につながります。こうした点からもしっかりと予算を付けていただき、山から木が出て、合板工場や、我々のような県内で加工に携わるものの手によって市場に流していくというサイクルの岐阜モデルの構築に今後も協力していきたいと思っています。

最後になりましたが、水と空気をつくってくれるのは森林です。その森林が豊富な岐阜県は非常に恵まれていると思っています。森林は我々の財産であり、森林を大切に有効に使っていかなければなりません。木は育ったものを適宜利用して、昔からある地産地消のサイクルに戻さなくてはいけません。皆さんの事業の中で我々がお役にたてることがあればご相談いただければと思います。

【テーマ】「独自性を打ち出した高田焼の新商品開発」
【発表会】　高田陶磁器工業協同組合　専務理事　藤 本 啓 二　氏

■高田焼とは

「美濃焼」と一言で言っても、多治見・土岐・瑞浪市内にいくつもの産地があります。その中の一つ多治見市の高田地区で我々は組合を作って活動しています。美濃焼産地として高田の歴史は古く、江戸時代から徳利が盛んに作られていました。当産地では徳利を製造するのに適した粘土が豊富に採れるためで、暮らしに密着した焼き物が多く、土味（つちあじ）を活かした素朴で味わいのある作品が特徴です。よって、白い食器類はほとんど作っていません。

組合員は徳利のほか、すり鉢や釜飯の釜、湯たんぽなどを中心に製造しているため、他の産地との競合が少なかったことなどもあり、不景気の影響は比較的少なかったと思っています。しかし、徳利は九州地方を中心に焼酎や清酒メーカー向けに販売していることもあり、昨年秋に発覚した事故米の影響で売上は３分の１にまで落ち込みました。一方で駅弁の釜飯ブームや湯たんぽブームの時期には様々なメディアに取り上げられたため、大きな宣伝効果を得ることが出来ました。

■組合の取り組み

組合は粘土の共同購買を主に運営を行っています。また、行政や中央会などからの補助金を活用して商品開発にも取り組んでいます。非常に資源に恵まれた産地ですし、粘土の特徴を活かした商品づくりをということで５年程前には「塩焼」に取り組みました。焼成方法に特徴があって陶器は粘土で成形したあと乾燥させ、絵付けを行った後に釉薬を使用せず窯入れを行い焼成させます。塩焼は焼成を行っている時に炉内の中に岩塩を打ち込みます。するとナトリウムと粘土が反応して表面がざらざらとしたガラス状の風合いが出てきて、特製のある商品が出来上がります。

また、先日２つの新商品を発表しました。芋焼酎を飲むための酒燗器や片口、お猪口がセットになった「高田焼黒千代加」と本格的に野菜が漬けられる「高田焼浅漬けボヲル」です。この先どうなっていくか不透明な部分が多いため、商品開発を行うことで組合としての存在価値を高めていきたいと思い頑張っています。

■最後に

このように大変特徴のある高田の粘土ですから、非常に大事にしていく必要があると思います。しかし、近年は粘土を採掘する山が住宅地に開発されてきており、そこの粘土が採れなくなって困っています。これにより土を掘る事業者が立ち行かなくなり、廃業される人が出てこないか危惧しています。すると原料が仕入れにくくなり、釉薬を取り扱う事業者にもそのしわ寄せがあるかもしれません。当然、組合員にも影響が出てきます。

美濃焼産地は大変厳しい状況ですが、我々は特徴のある商品を開発し、資源である粘土を大事に守って今後も頑張っていきたいと思っています。

【テーマ】「奥美濃カレープロジェクトのウラ話」
【発表会】　奥美濃カレー協同組合　理事長　籏　　典　幸　氏

■プロジェクトの原点

私どもは本年４月２２日に発足したホヤホヤの協同組合で「奥美濃カレープロジェクト」というものに取り組んでいます。地域をなんとか元気に出来ないかとの思いで平成１５年頃から商工会の協力を得ながら構想を練ってきました。このプロジェクトは、多くの人が好きな国民食“カレー”で地域おこしをすることが狙いとなっています。地元で採れた食材を使ってカレーを作り、皆さんに美味しいカレーを食べてもらおうと頑張っています。

まず、「ＴＶチャンピオン」という番組のカレー選手権で初代王者に輝いた森幸男氏を講師に招き、昔ながらの食材を活かしながら地域に根差したカレーを作ろうということで、取り組みを始めました。統一名称を“奥美濃カレー”として郡上味噌をカレーの中に取り入れるというコンセプトでスタートしたのですが、試作品を作って頂いた方々からは「味噌とカレーが味としてマッチするのか」などの意見が多々ありました。何十回と試食会を重ね、試行錯誤の上にようやく１５件程が奥美濃カレーとして販売していけるまでになりました。

■奥美濃カレーの知名度ＵＰ

では、どうやって奥美濃カレーの知名度を上げ、消費者に認知をしてもらうのか。我々はマスコミを利用することを考えました。現在、料理番組を放送していないテレビ局は無いといっても過言ではありません。そこで、新聞のテレビ欄で料理番組を調べて奥美濃カレー発表会を開催する旨の連絡をしました。するとテレビ局２社をはじめ、マスコミ数社から取材依頼があり、瞬く間に全国から問い合わせが来るようになりました。

こうした中で、サークルＫさんから奥美濃カレーを売りたいというお話をいただき、昨年東海３県で販売したところ、３週間で７万食売れました。今年に入ってからはローソンさんからも依頼があり、２万食くらい売れました。その他にも岐阜県の物産展やイオンさんの物産展などに積極的に参加し、宣伝活動を行ってきました。

東海北陸自動車道のひるがの高原ＳＡには年間約６００万人の観光客が訪れます。そこで、スキーやスノーボードで訪れる若者にもＰＲしようと、高速道路のパーキングエリアで奥美濃カレーを試食してもらいました。また、食事をしてスタンプを貯めたら抽選で温泉券をプレゼントなどといった企画を行いました。

それから「１円カレー」にも取り組みました。グラム１円で販売してお客様にルーを自由にかけていただくというものです。３００ｇなら３００円、１ｋｇなら１０００円といった感じです。

■地産地消への取り組み

地域活性化のためには、地元農業の活性化も必要だと思っています。そのためには休耕田の活用が重要です。お米や玉ネギ、トマトなどが地元で作られています。今年２月には農協さんと協定を結び、４種類の玉ネギを約１ｔ試験的に生産してもらうことになりました。１ｔ生産していただくことで私達はどの玉ネギがカレーに合うのかを見極めることができ、来年度以降に１０ｔ、２０ｔへと増産する計画があります。これだけの量を作れば奥美濃の特産品の一つとなり、農商工連携の一つの形になるのではないかと思っています。先程も言いましたが、奥美濃には休耕田が沢山あります。将来的にはその休耕田を利用して、人参、ニンニク、生姜、ジャガイモなどを作っていこうと考えています。ひるがの地域では、非常に糖分が高い人参を作っています。そこで、人工甘味料に頼らずその人参の甘味のみを利用した無添加カレーの開発に取り組んでいきたいと考えています。

今年の９月２６・２７日に東海北陸自動車道沿線のグルメを集めた『食の祭典ｉｎぎふ郡上』を開催します。郡上市の「郡上鮎」「奥美濃カレー」「明宝鶏ちゃん」をはじめ、高山、下呂、美濃、関などのご当地グルメ、県外からは金沢や高岡などから様々な“食”を集める計画です。また、前夜祭には郡上の長良川をライトアップして伝統漁法である夜網の実演を考えています。そして、そこで捕れた日本一の天然の郡上鮎をその場で塩焼きにして、皆さんに食べてもらう計画もしています。多くの食を皆さんに楽しんでいただくため、各グルメについてハーフサイズやミニサイズでの販売も考えていますので、是非ご来場下さい。

■まとめ

最後になりましたが、私達は食に関することで地域に貢献できることはないだろうかという思いでこれからも事業を続けていきます。夢がない事業というのは絶対失敗すると私は思っています。将来の夢がはっきりしていてその目的を達成するために何をしていかなければならないのか。夢の実現に向けてしっかりとしたコンセプトを立て実行していくことが、今後の組合運営において非常に重要であると思います。

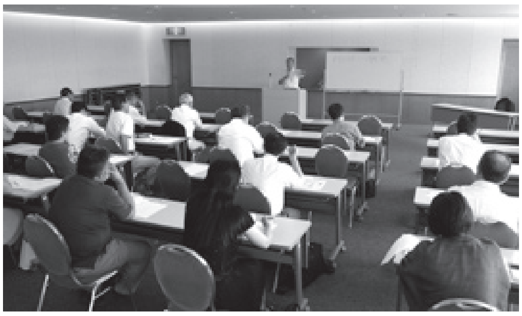
中央会の動き

労務管理セミナーを開催

中央会は「労務管理セミナー」を８月28日に県民ふれあい会館レセプションルームで開催し、約30人が出席した。

講師を務めた社会保険労務士の伏屋喜雄氏からは「労働法改正の要点と就業規則の見直し」をテーマに講演を行い、改正パートタイム労働法並びに労働契約法の要点について説明がなされたほか、現場で実際に起きている労働問題事例を紹介した。伏屋氏は「『パートだから』というのではなく、仕事内容の違いや責任の程度の差などを説明し、パートでも内容が変われば賃金も変わることを説明する義務がある。」と述べるなど、留意事項や注意点などをアドバイスした。

また、就業規則の見直しのポイントを解説し、参加者はメモを取りながら熱心に聞き入っていた。



ものづくり補助金の採択企業向けに説明会を開催

中央会では「ものづくり中小企業支援補助金」の１次募集で採択された企業を対象に８月27日に県民ふれあい会館・大会議室で説明会を開催した。

この説明会は８月７日に全国中央会から採択結果が公表されたのを受けて行ったもので、県内からは試作開発等支援事業に60件、製品実証等支援事業に10件が採択された。当日は午前に製品実証等の採択企業、午後は試作開発等の採択企業に対して、全国中央会に設置されたものづくり中小企業支援センターの担当者から交付規程や実施要領について説明し、出席した企業は今後の事業実施に係る疑問点等を確認した。

「農商工連携等人材育成事業」がスタート

全国中央会が公募した「平成21年度農商工連携等人材育成事業」に本会提案の事業が採択されたのを受けて、中央会では来月から個別事業を開始します。

具体的には、農商工連携の認定事例等を紹介する研修会を12日間実施し、農商工連携認定企業への視察を４回予定している。スケージュール等は別途ご案内させていただきますので、組合等中小企業者の方々のご参加をお願いたします。

組合等の動き

土岐市陶磁器卸商業協同組合（齋木克躬理事長）

「セラトピア土岐納涼夏祭り」を初開催

土岐市陶磁器卸商業協同組合は､「セラトピア土岐納涼夏祭り2009」を８月２日に開催し、１万５千人余りが訪れた。

同組合では、昨年セラトピア土岐の指定管理者となったこともあり今年初めて企画したもので、採れたて野菜市をはじめ、１階大ホールには雑貨店やハンドクラフト店など約１００ブースが出展した。また、７月にリニューアルオープンした会館内の美濃焼専門店「陶土ぅ庵」には、お目当ての商品を探す人の姿が見られた。子ども縁日コーナーでは、水風船釣りやスーパーボールすくいなどが行われ、家族連れなどで賑わっていた。組合では「来年も楽しいイベントを企画し、夏の一大イベントとして定着させたい。」と抱負を語った。

恵那陶磁器工業協同組合（内藤善文理事長）／スエ陶磁器卸商業協同組合（加藤輔之理事長）

陶（スエ）町陶祖祭の式典が開催される

瑞浪市陶町において陶磁器づくりを開始し、地場産業として発展の礎になった陶祖の遺徳を称え、今後の発展を祈る「陶町陶祖祭」が８月13日に同市陶町の桜ヶ丘公園内「頌徳碑」前で開催された。

この式典は、恵那陶磁器工業(協)及びスエ陶磁器卸商業(協)が主催して行ったもので、瑞浪市長、瑞浪商工会議所、県会議員、東濃振興局、金融機関等の来賓と瑞浪市の陶磁器関連業者が出席して行われた。

厳かかつ荘厳な雰囲気の中で式典は行われ、陶祖に感謝するとともに地場産業を引き継ぐ責任を参加者全員が改めて認識していた。

こうした陶祖祭は、多治見市や土岐市にある各美濃焼産地でも行われている。また、10月には東濃各地で陶磁器イベントが行われるので、訪れてみてはどうですか。

岐阜県米菓工業協同組合（寸田秀範理事長）

組合創立60周年記念式典を開催

岐阜県米菓工業協同組合は、８月22日に岐阜都ホテルで「創立60周年記念式典」を開催し、関係者ら約60人が節目を祝った。同組合は昭和25年６月に設立し、現在の組合員は20社で、原材料の共同購買をはじめ各種研修会などを行い、業界の発展に努めている。

開式にあたり寸田理事長は、「過去10年を振り返ると、事故米問題などこの１年間が一番大変だった。業界を取り巻く環境は依然厳しいが、組合員と共に頑張っていきたい。」とあいさつした。また、業界発展に尽力した寸田理事長、森義雄副理事長、小林俊夫副理事長に県知事表彰が贈られた。

岐阜県異業種グループ交流推進協議会（大久保為芳会長）

異業種グループがサンメッセを視察

県異業種グループ交流推進協議会は、８月25日に「現場に学ぶ交流会」としてサンメッセ㈱の本社工場を視察した。

同社の企業経営は、法令遵守、技術革新、環境保護が大きな柱となっており、特に環境保護においてはISO14000の認証取得や、100％大豆油インキによる環境配慮印刷に取り組むなど、地球環境に配慮した印刷の実現や可能性の追求を続けている。担当者からは「工場内はトヨタ式カイゼンを参考にして無駄を省き効率良く商品が出来るようにしている。Co2の削減に取り組み、環境に配慮した商品を作ることが必要な時代。目標はゼロエミッションである。」と説明があり、最先端の印刷機器や技術が集約された工場を見学した。

協同組合飛騨木工連合会（北村斉理事長）

匠の技を「暮らしと家具の祭典」で披露

協同組合飛騨木工連合会は、「2009飛騨・高山 暮らしと家具の祭典」を９月２日から６日まで、高山市の飛騨・世界生活文化センターで開催した。

同イベントは、組合員メーカーが最新の製品や技術を紹介して飛騨の家具と木工技術をアピールするもので、国内外から大勢のバイヤーが集まり大商談会が行われる。今年は組合員による「おもてなし」をコンセプトとしたライフスタイルの提案に加え、飛騨のクラフト展示、地域団体商標コーナーなど多彩な空間が館内を彩り、飛騨ブランドの国内外への需要開拓を行った。

５日には「伝統的な木造建築を造り続けるためのシンポジウム」を実施し、東京都市大学工学部の大橋好光教授による講演会やパネルディスカッションが行われ、会場には大勢の人が訪れていた。

◆『秋の全国交通安全運動』実施期間です！ ９月21日（月）～30日（水）スローガン「地域ぐるみで守ろう　お年寄りと子ども」 【岐阜県交通安全対策協議会】

景況レポート

平成21年
8月末
調査
(前年同月比)

中小企業団体情報連絡員85名（うち85名分の集計）の情報連絡票から

〔Ⅰ〕8月の特色

◆　景況感ＤＩ値、
　　マイナス８０へ

〔Ⅱ〕8月の概況

当月の景気動向を前年同月比景況感ＤＩ値で見ると、好転０、悪化８０でＤＩ値はマイナス８０となり、前月のマイナス７３に対し、７ポイントの悪化となっている。

平成２１年３月から前月まで景況感ＤＩ値は改善傾向にあったが、８月は再び悪化した。

景況感が好転したと回答した業種は無く、悪化と回答した業種は６８業種であった。

主要な調査項目を見ていくと、売上高ＤＩ値はマイナス７２で前月比５ポイントの悪化、販売価格ＤＩ値はマイナス４７で前月比４ポイントの悪化、収益状況ＤＩ値はマイナス８２で前月比８ポイントの悪化、資金繰りＤＩ値はマイナス４８で前月比１ポイントの改善となり、資金繰りを除く主要調査項目において悪化となった。

業種別に見ると、非製造業の雇用人員を除く全ての調査項目においてＤＩ値マイナス３０以下の「悪化」となっている。

コメントからは、依然、受注量の減少、需要低迷、景気低迷に伴う先行きを不安視する声が多く、ダンピングによる収益悪化、燃料・原材料価格の上昇、競争による値崩れなど懸念する声も寄せられている。また、前月に引き続き、当月も長雨や冷夏などの季節的要因の影響による売上不振を挙げる報告も多かった。

＜主な調査項目での動向＞

売上高の動向は、前年同月比で増加４、減少７６でＤＩ値はマイナス７２となり、前月のマイナス６７に対し、５ポイントの悪化となっている。

悪化要因の一つに、長雨や冷夏の天候不順の影響による、食料品・衣料品等の販売不振、観光客の減少等が挙げられる。

売上が増加した業種は、４業種となっており、銘木、医薬品卸、機械・工具販売、共同店舗（東濃）となっている。

売上減少となった業種は、６５業種あり、特に繊維・同製品、鉄鋼・金属、一般機械、小売業、商店街、サービス業、建設業に減少が多い。

販売価格の動向は、前年同月比で上昇１、下降４８でＤＩ値はマイナス４７となり、前月のマイナス４３に対し、４ポイントの悪化の動きとなっている。

販売価格が上昇した業種は、牛乳・乳製品のみである。

販売価格が下降した業種は４１業種あり、特に一般機械、卸売業、小売業、建設業に低下が多い。

収益状況の動向は、前年同月比で好転１、悪化８３でＤＩ値はマイナス８２となり、前月のマイナス７４に対し、８ポイントの悪化の動きとなっている。

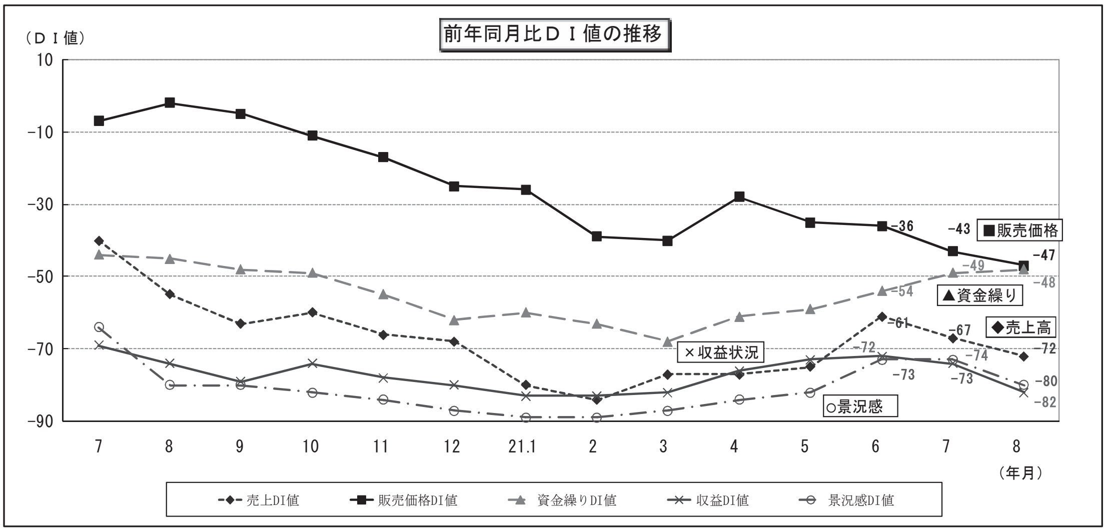
収益状況が好転した業種は、共同店舗（東濃）のみである。

収益状況か悪化した業種は７１業種あり、特に繊維・同製品、木材・木製品、窯業・土石、鉄鋼・金属、一般機械、商店街、サービス業、建設業に悪化が多い。

資金繰りの動向は、前年同月比で好転２、悪化５０でＤＩ値はマイナス４８となり、前月のマイナス４９に対し、１ポイントの改善となっている。

特に窯業・土石、商店街、建設業、運輸業に悪化が多い。

売上高、販売価格、収益動向、資金繰り、景況動向 ＤＩ値の推移（前年同月比）



◆県内倒産件数◆

平成21年8月
16件（20件）
平成21年7月
24件（27件）

（　）内は昨年同月
東京商工リサーチ調査
負債総額1,000万円以上

県内中小企業主要業種の景気動向

(8月末調査)

表の見方

好転	やや好転	変わらず	やや悪化	悪化
+30≦DI	+10≦DI<+30	−10<DI<+10	−30<DI≦−10	DI≦−30

○：増加、上昇、好転、拡大
△：不変
▲：減少、下降、悪化、縮小

製造業	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
DI値	悪化	悪化	悪化	悪化	悪化	悪化

非製造業	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
DI値	悪化	悪化	悪化	悪化	やや悪化	悪化

区分	業種＼調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳・乳製品	△	○	▲	△	△	▲
	豆腐	▲	△	▲	△	△	▲
	食肉(国産)	▲	▲	▲	△	△	▲
	菓子	▲	△	▲	△	△	▲
	米菓	△	△	△	△	△	△
	寒天水産	△	△	△	△	△	△
	製麺	▲	△	▲	△	△	△
繊維・同製品	撚糸	▲	△	▲	▲	▲	▲
	ニット工業	▲	△	▲	△	▲	▲
	毛織物	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	合成繊維織物	▲	△	▲	▲	△	▲
	メンズアパレル	△	△	△	△	△	▲
	婦人・子供服	△	▲	▲	△	△	▲
	縫製(既製服)	▲	▲	▲	▲	△	▲
木材・木製品	製材	▲	▲	▲	△	△	▲
	銘木	○	▲	▲	△	△	▲
	製材・素材生産	▲	△	△	▲	▲	▲
	家具(飛騨地区)	▲	△	▲	△	△	▲
	東濃ひのき	△	▲	▲	▲	▲	▲
紙・紙加工品	家庭紙	△	△	△	△	△	△
	特殊紙	▲	▲	▲	▲	△	▲
	紙加工品	▲	▲	▲	▲	△	▲
印刷	印刷	▲	▲	▲	▲	△	▲
化学ゴム	プラスチック	▲	▲	▲	△	▲	▲
窯業・土石	陶磁器(工業)	▲	△	▲	▲	△	▲
	陶磁器(輸出)	△	△	△	△	△	▲
	タイル	▲	△	▲	▲	△	▲
	窯業原料	▲	△	▲	▲	△	▲
	石灰	▲	△	▲	▲	△	▲
	生コンクリート	△	△	▲	▲	▲	▲
	砂利生産	▲	△	▲	▲	△	▲
	砕石生産	▲	▲	▲	▲	▲	▲
鉄鋼・金属	鋳物	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	刃物等金属製品(輸出)	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	刃物等金属製品(内需)	▲	△	▲	△	△	▲
	メッキ	▲	△	▲	△	△	▲
一般機械	県金属工業団地	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	可児工業団地	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	金型	▲	▲	▲	△	▲	▲
電気機器	電気機械器具	▲	△	▲	△	△	○
輸送用機器	輸送用機器	▲	△	▲	▲	▲	▲
各種物産品	各種物産品(観光)	▲	△	▲	○	△	▲
	各種物産品(ギフト)	▲	△	▲	▲	▲	▲

区分	業種＼調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸売業	医薬品卸	○	▲	▲	△	△	△
	電設資材卸	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	陶磁器産地卸	▲	▲	▲	△	△	▲
	機械・工具販売	○	▲	△	△	△	△
小売業	青果販売	▲	▲	▲	△	△	▲
	水産物商業	▲	△	▲	▲	△	▲
	家電機器販売	▲	▲	▲	▲	△	△
	メガネ販売	▲	△	▲	△	△	▲
	中古自動車販売	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	石油製品販売	▲	▲	▲	△	△	△
	共同店舗(東濃)	○	▲	○	○	○	△
	共同店舗(飛騨)	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	生花販売	△	△	△	△	△	△
商店街	岐阜市商店街	▲	△	▲	△	△	▲
	大垣市商店街	▲	△	▲	▲	△	▲
	多治見市商店街	▲	△	▲	▲	△	▲
	恵那市商店街	▲	△	▲	▲	△	▲
	高山市商店街	△	▲	△	▲	△	▲
サービス業	自動車車体整備	△	△	▲	△	△	▲
	自動車タイヤ整備	▲	△	▲	△	▲	▲
	長良川畔旅館	▲	▲	▲	△	△	▲
	下呂温泉旅館	▲	△	▲	△	△	▲
	高山旅館	▲	▲	▲	▲	△	▲
	クリーニング	△	△	△	△	△	△
	広告美術	▲	▲	▲	▲	△	▲
	情報サービス業	△	△	△	△	△	△
	映像制作	▲	△	▲	△	△	▲
	飲食業	△	△	▲	△	△	△
	ビルメンテナンス	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	理容・美容業	▲	△	△	△	△	△
建設業	土木(岐阜地区)	▲	△	▲	▲	▲	▲
	土木(飛騨地区)	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	土木(東濃地区)	▲	△	▲	△	△	△
	建築設計	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	鉄構造物	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	電気工事	▲	▲	▲	△	△	▲
	管設備工事	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	建築板金	▲	▲	▲	▲	△	▲
	木製建具	△	▲	△	△	△	△
	産直住宅(東白川地区)	▲	▲	▲	▲	△	▲
運輸業	貨物運送(県域)	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	軽運送	▲	△	▲	▲	▲	▲

※中小企業団体情報連絡員85名(うち85名分の集計)を対象にまとめたものです。

飛騨支所だより

秋の飛騨高山のみどころ

いよいよ秋の行楽シーズンに入ります。飛騨高山で１０月９日（金）～１０日（土）の２日間「秋の高山まつり（八幡祭）」が桜山八幡宮（高山市桜町１７８）を中心に開かれます。祭りはみなさんもテレビや新聞でご存じだと思いますが簡単に紹介します。

この祭りは、日本三大美祭の一つに数えられている大変優雅で美しいまつりだと言われています。動く陽明門と形容される絢爛豪華な屋台や巧みな動きを見せるからくり人形が見どころです。

高山の屋台をはじめ、全国の屋台修理を行っている組合があります。昭和５６年に高山市教育委員会より屋台保存修理技術者としての認定を受けた者で「高山・祭屋台保存技術協同組合」が設立されました。祭屋台の保存修理を主に活動しており、これまで各職がそれぞれで行ってきたものを、組合で一括受注することにより、意志の疎通と連携がより円滑となって、今では技術の錬磨・継承、後継者の育成などに重要な役割を果しています。

１０月からは紅葉の季節で、各地で紅葉の見どころ場所も多く、ライトアップがされるところがあります。主な場所と時期は下記のとおりです。

●秋の江名子川ライトアップ：10月3日(土)～11月30日(月)
江名子川にかかる千鳥橋から左京橋までの紅葉をライトアップ（ただし、１０月９日（金）は高山まつりのため中止）

●秋の飛騨高山ライトアップ：10月3日(土)～11月30日(月)
宮川中橋周辺を夕闇とともにライトアップされた中橋が幻想的な姿を見せてくれます。

●飛騨の里紅葉ライトアップ：10月24日(土)～11月15日(日)
飛騨の里の合掌造りと紅葉がライトアップされ、幻想的な世界を醸しだします。

その他にも、飛騨高山は既存の施設や、イベントも行われており、秋の味覚を満喫するとともに、飛騨高山の風景を見て、食べて、泊ってください。

中央会レディースクラブ通信

岐阜県中央会レディースクラブ　今年で１０年！

中央会レディースクラブは、平成１１年１２月１５日に全国で９番目の中央会女性部として設立し、今年で１０年目を迎えます。

３１会員でのスタートでしたが、厳しい経済環境の中で、岐阜県中央会の協力を得ながら毎年セミナーを開催し、県外の優良企業視察や県内外の女性経営者等との交流を深めるなど各種事業を積極的に展開することで、会員数も５８会員と設立当初の約２倍となりました。

今後も、全国レディース中央会への協力や他県中央会女性部との交流促進に努めるとともに、会員の更なる資質向上を図ることを目的としたセミナーの開催や会員間の交流、更には組合女性部の設立の促進など、各事業を積極的に行うこととしています。

三重県・滋賀県中央会女性部との交流会

■岐阜県中央会と共催して実施したセミナーの主な講師

・中日新聞本社取締役編集局長　小出宣昭 氏
・政策研究大学院大学教授　橋本久義 氏
・浄土宗尼僧良正庵主　小林良正 氏
・女優・心理相談員　あいはら友子 氏
・弁護士　三瀬　顕 氏
・中部学院大学学長　岡本　健 氏
＊その他、数多くのセミナーを開催しました。

女性経営者等支援セミナー風景

岐阜県中小企業団体中央会レディースクラブ　会員募集中！

当レディースクラブについての詳細や入会等についてのお問い合わせは、中央会情報チーム（TEL 058-277-1102）までご連絡下さい。

頑張っている仲間達

中央会の会員組合を紹介します！

本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けていますので、皆様の仲間を紹介します。

川崎岐阜協同組合

■理　事　長：福西紀雄	■設立年月日：昭和２６年１２月８日
■組 合 員 数：３０人	■住　　所：各務原市蘇原興亜町１丁目１７番地の1
■組合員資格：輸送用機械器具製造業	■Ｔ　Ｅ　Ｌ：058-382-2175　FAX：058-382-2176

☆市原専務理事に話を聞きました☆

当組合は、戦後の復興間もない昭和２６年１２月８日にバスボディー関係の協力工場２２社が金融問題を打開するため、現川崎重工業(株)の協力工場で川崎岐阜製作所協力工場協同組合（現：川崎岐阜協同組合）を結成しスタートした。

昭和４２年頃から航空機部品関係の受注を開始、現在では、民間航空機や固定翼哨戒機（P-X）、輸送機（C-X）の試作機生産等の防衛需要を中心に事業を推進している。最近では組合に対するニーズの多様化、高度化、グローバル化が求められ、厳しい経済環境の中、受注競争による価格の引下げ、納期の短縮化など一段と厳しくなっている。

組合員３０社のうち２４社が航空機関連の事業に携わっており、品質の管理、短納期化、新素材への対応、コストダウン対策、人材育成が課題となっている。こうした中で特に２１世紀を担う新しい人材を育成するべく平成１６年度から３年間、雇用能力開発機構より指定を受け『中小企業人材確保推進事業』に取り組み、人材の確保、育成に取り組んだ。さらに、平成２１年度には中央会事業の組合等連携支援事業により、新入社員教育や安全衛生、職場の環境改善に力を注いでいる。来年には60周年という節目を迎えるが、永年培われた技術を活かし、さらなる飛躍を図っていきたい。

航空宇宙機器部品をはじめ、車輛、産業機械など小さな部品から巨大精密機器製作まで柔軟に対応できる「**物づくり集団川協**」を目指し、川協グループが関与する製品は広く国内外で経済発展の原動力となることが期待されている。

この伝統あるものづくりパワー集団を是非活用して下さい。

組合Q&A　賛助会員の資格について

Q 賛助会員制度の導入を検討しているが、「賛助会員の資格に制限はあるか」についてご教授願いたい。

A 事業協同組合定款参考例により、賛助会員制に関する規定が次のように位置づけられている。

> 「第７章　賛助会員
> （賛助会員）
> 第５４条　本組合は、本組合の趣旨に賛同し、本組合の事業の円滑な実施に協力しようとする者を賛助会員とすることができる。ただし、賛助会員は、本組合において法に定める組合員には該当しないものとする。
> ２　賛助会員について必要な事項は、規約で定める。」

この賛助会員制が定款例に位置づけられた趣旨は、組合が賛助会員制を活用して外部関係者を組織化することにより、その協力と理解を得るなど、最近特に重要性が高まっている組合と組合外部との交流･連携を促進しようというものである。従って、単なる資金集めのためにこの制度を活用することはできない。

賛助会員の資格は、定款参考例には「本組合の趣旨に賛同し、本組合の事業の円滑な実施に協力しようとする者」となっており、このほか特に資格についての制限はない。賛助会員の資格は、組合の実情に応じて定めることができるが、外部関係者を組織化することにより、その協力･理解関係の一層の増進に資するという賛助会員制の主旨に留意し、その範囲を逸脱しないようにすることが肝要である。

なお、来月は「賛助会員の組合事業利用は、員内利用扱いとなるのか」について解説します。

◆『空き缶クリーン・キャンペーン週間』9月24日（木）～10月1日（木）【岐阜県環境生活部廃棄物対策課】

全国の先進組合事例を紹介!!

七日町商店街振興組合

バイオディーゼル燃料事業を推進して環境対応型商店街をアピール

[背景と目的]

七日町商店街では、環境対応事業を重視し、朝掃除活動などを実施。平成１２年からは空き缶リサイクルの「エコ・ステーション」事業を始めた。平成１６年に全国リサイクル商店街サミットを開催した際、分科会でＢＤＦがとりあげられたのをきっかけに、ＢＤＦ事業の研究を進めることとなった。

環境対応型商店街として効果的な事業と位置づけ、本格的に事業化に向けて取り組み、平成１９年には新エネルギー・産業技術総合開発機構や山形市の助成を受けて設備を導入し、平成２０年７月より本格的に事業が開始された。

[事業・活動の内容]

飲食業・ホテル・給食センター等の約４０事業所から、月１回～週２回の頻度で廃油を回収し買い上げている。一般生活者には商店街に持参してもらい、スタンプを付与、スタンプが１０個たまるとエコ肥料や石鹸などと交換する。

回収した廃油は、商店街の駐車場ビル内に設置したＢＤＦ設備でＢＤＦに精製し、販売している。製造したＢＤＦは、現在、市長公用車やゴミ収集車、商店街循環バス（１００円バス）、組合員の運搬車両などに使用されている。

[成果]

現在月３,０００リットルほどの廃油を回収し、このうち２,８００リットルほどをＢＤＦに精製し販売している。

ＢＤＦ事業によって、組合にとっては環境意識がより高まり、経費の削減や廃棄物の減少という効果が表れている。商店街のＢＤＦ事業としては他に例がなく、全国から視察が相次いでいる（議会関係者が多い）。

組合員にとっては、環境意識の高まりに加えて、家庭から排出された廃油や期限切れの油を持ち込む人が増えたことにより、商店街及び各店舗への来街者の増加という効果につながっている。

ポイント	市内の事業所や生活者から廃油を回収し買い上げ、商店街駐車場内に設置したＢＤＦ(バイオディーゼル燃料)設備で燃料に精製し販売。ＢＤＦは市長公用車やゴミ収集車、商店街循環バスなどに利用		
住　所	山形県山県市七日町1-1-1		
ＵＲＬ	http://nanokamachi.com/		
電　話	023-631-6368	ＦＡＸ	023-624-9559
組合員	74人	設　立	昭和39年２月

協同組合横田ショッピングセンター

循環型地域社会の形成に向けた農商連携事業の取り組み

[背景と目的]

平成１３年５月に食品リサイクル法が施行され、食品循環資源の再利用促進のための措置が義務化された。組合内では、発生する廃棄物の量とともに処理コストが増大しつつあり、対応が急務の状況であった。

一連の食品関連事件等をきっかけとして、食の安全・安心への関心や期待が高まる中、中央会主催の研修会等を通じて、土壌改良菌「内城菌」の存在や、視察による他地域の状況を知ることとなった。同じ関心、意志を持つ地元の商業者、農業者、商工会員、行政職員等の有志が集まり、平成１５年５月にＮＰＯ法人コスモ銀河計画を設立し、これを軸に食品残さを起点とする循環型連鎖の輪が生まれた。これにより食品廃棄物リサイクルと自然循環型の有機農産物の生産が可能となった。

[連携の内容]

組合員商業者が、事業所内で発生した食品残さをＮＰＯ法人施設に搬入し、処理機にて１０時間程度の処理を加え、「内城菌」により有機肥料化する。ＮＰＯ法人は製造された有機肥料を農業者に販売し、農業者はこの肥料を用いて有機農産物を生産する。農産物の一部は、組合商業者により仕入れられて販売に供され、連鎖が完結する。ＮＰＯ法人内における有機肥料製造が連携の要であり、生産される肥料の効果性能と安全・安心が鍵である。

当組合員を含むＮＰＯ法人の各メンバーの日常的な協力、頻繁な連絡等の元で連携が支えられている。連携当初は新規の投資等を極力押さえ、メンバーの持ち寄りや提供に依ったこともソフトランディングを可能とした。

[成果]

化学肥料をできるだけ使用しないで環境に配慮した農産物が生産され、当組合等の流通システムを通じて有機農産物として販売されている。農産物は食の安全性を重視する消費者からは、好評を得ている。

一方、組合内で発生する食品残さは、発生自体が意識的に抑制されるようになり、発生した残さも効率的にリサイクルされ肥料に姿を変えている。組合廃棄物のトータル処理コストは、社会全体からみてもかなり削減されていることになる。

連携過程で製造される有機肥料は、もっと広範囲に流通し、効果性能を発揮できる可能性があると思われる。

ポイント	組合内で発生する食品残さを、連携先で有機肥料に加工。連携農家は有機肥料を使用して有機農産物を生産し、当組合が仕入れて販売する循環型の農商連携を確立		
住　所	島根県仁多郡奥出雲町下横田84		
ＵＲＬ	http://www2.crosstalk.or.jp/yokota/		
電　話	0854-52-3300	ＦＡＸ	0854-52-3301
組合員	４人	設　立	昭和46年１月

専門家'sEYE

低価格競争からの脱出！

～「内食志向、巣ごもり消費」の背景を見よ！～

ＮＰＯ法人起業家支援ネット・中小企業診断士　眞鍋　貴子

昨年秋の経済不況から、消費者の生活は一変しました。給与が減り、ボーナスがカットされ、職を失う人も続出しました。私たちの生活が切り詰められる中、従来では考えられなかった低価格の商品やサービスが一気に登場しました。ユニクロから990円のジーンズが登場し、ＦＯＲＥＶＥＲ21、Ｈ＆Ｍなどの海外の低価格ファッションも大きな話題になりました。またマクドナルドが無料コーヒーを提供するキャンペーンを打ち出すなど、飲食店でも更なる値下げ競争、低価格競争が激しくなりました。

この状況を見ると「今は低価格しか売れない！低価格で生き残れるのは大企業だけ！」と思われるかもしれません。しかし、成功の秘訣は単純に価格を下げたことではなく、消費者のライフスタイルの変化に気づき、いち早く消費者が求めている商品やサービスを提供したことにあります。

例を挙げてみましょう。皆さんは「巣ごもり消費」「内食志向」という言葉を目にされたことがあると思います。節約のために娯楽や食事を家で楽しむ傾向から生まれた言葉です。スーパーでは家で簡単に作れるカレールーが売れ、電気屋さんではパン焼き器やホットプレートが売れています。書店では余った食材を保存しておくための冷凍保存の本が売れています。家で楽しむためのクラフト商品、ガーデニング、家庭用ゲームなども売れています。

これを見ると消費者の求めていることが、単純に価格を下げることだけではないということが分かります。今の消費者が求めているニーズに対して、新しい商品・サービスを提案していくことが大切です。対応さえ間違えなければ、不況は決して怖くないのです。

それでは、どのように今の時代にあった商品やサービスを提案したら良いのかですが、答えは一つ！**「お客様の気持ちに立ってみよう！」**ということです。今の時代なら**「節約志向のお客様は一体何を求めているのか、どんな行動をとるのかを考えてみよう！」**ということです。

下記のように、それぞれのお客様が何を求めているのか考えてみましょう。経営者の皆さんは普段考えておられることですが、消費者の生の声を知っている社員、従業員と一緒に考えるのがポイントです。

自社がターゲットとしているお客様層を記入	人気の商品を記入	購入している理由を記入
20代～30代独身女性	１人用水筒	職場や外出先で使う。自分の気に入ったお茶やコーヒーを入れられる。
	節水シャワーヘッド	自分で水・湯の量が調整できる。水道代・ガス代を節約できる。
	シリコン蒸し器	ラップの手間が省け、レンジで簡単に調理できる。野菜が沢山食べられる。

●記入例はこんな感じです。

上記のように、全社で考えられる売れ筋商品・サービスの理由をつかんだ後、お客様が今何を求めているのかを考えましょう。

⇒上記の会社で例えると、今わが社が求められている役割は？

20～30代女性に対して、節約しながら楽しくエコライフを暮らせる方法を提供すること

⇒そのために品ぞろえやサービスはどうしたらよいか？

エコライフを軸にした商品を重点的に揃える。家庭の節約講座や節約キャンペーンイベントを実施する。エコにつながる情報をお客様同士が自由に交換できる場（ＳＮＳなど）を提供する。

節約志向、巣ごもり消費をビジネスチャンスに変えるには、あなたのお店に来るお客様が日々の生活のどんな場面で困っているのか、どんな商品やサービスを必要としているのか、を考えると良いですね！！きっとあなたの会社、お店にあったやり方が見つかるはずです。

中央会　セミナー・研修会等の下期(10月～3月)予定表

月	日	テ　ー　マ（内容等）	開　催　地
10月～１月		農商工連携等人材育成事業 研修会 １２日間　　視察研修　４回	県　内
１月～２月		組合産品等販売力強化セミナー（５回シリーズ）	岐阜市
10月	下　旬	地域活性化経営者セミナー「経営責任者としての法律知識」	高山市
	29日	環境対策支援セミナー（事例発表会）	岐阜市
11月	5日	下請ガイドライン説明会	岐阜市
	中旬	第２回女性経営者等支援セミナー	〃
	中旬～下旬	連携普及研修会	県内６ヶ所
	19日	第61回中小企業団体全国大会（幕張メッセ）	千葉市
	24日	県官公需フォーラム	岐阜市
12月	上　旬	環境対策支援セミナー（企業視察）	岐阜市
	中　旬	中小企業団体情報連絡員会議	〃
1月	中　旬	小企業者組織化特別講習会「小企業者の経営改善について」（予定）	岐阜市
	〃	外国人研修生受入組合運営研修会 「外国人技能実習生の適正な労務管理について」	〃
	下　旬	組合青年部強化研修会	岐阜市
	29～30日	地域資源組合産品フェスティバル（予定）	名古屋市（金山駅）
2月	上　旬	第３回女性経営者等支援セミナー	岐阜市
	〃	食品製造組合問題懇談会	美濃加茂市
	中　旬	技術力強化セミナー「技術力がヒット商品を生み出す」（予定）	岐阜市
3月	上　旬	事務局代表者懇談会	県下３会場
	中　旬	青中講習会「創造性を発揮する企業になるために」（予定）	土岐市
	中　旬	税制問題研修会「平成22年度税制改正の大綱」	岐阜市

※各種事業の詳細については、別途ご案内致します。ご確認いただきお申込みをお願いします。

パソコン研修のご案内

中小企業組合等のより一層のパソコン利活用の促進並びに操作技術のレベルの向上を図ることを目的に、組合役職員及び組合員企業の方々を対象にパソコン実技研修を実施いたします。
受講料は無料ですので、是非ご参加下さい。

講座名（10:00～17:00）	会　場	開催日	申込締切日
①Word中級講座 ビジネス現場で役立つWordのコツ 前提条件：日常、Wordを使用している方	岐阜会場	９月29日(火)	９月24日(木)
	東濃会場	９月17日(木)	９月11日(金)
	飛騨会場	９月18日(金)	９月11日(金)
②Excel中級講座 ビジネス現場で役立つExcelのコツ 前提条件：日常、Excelを使用している方	岐阜会場	10月27日(火)	10月19日(月)
	東濃会場	10月 1 日(木)	９月24日(木)
	飛騨会場	10月14日(水)	10月 8 日(木)
③ホームページ講座 自分でできる！ホームページメンテナンス 前提条件：パソコンの基本的操作をマスターしている方	岐阜会場	10月 6 日(火)	９月30日(水)
	東濃会場	10月 8 日(木)	９月30日(水)
	飛騨会場	開催しません	

【岐阜会場】①、②：ソフトピアジャパンドリーム・コア ４Ｆ実習室２
　　　　　　③：大垣市情報工房 ２Ｆ多目的研修室
【東濃会場】セラトピア土岐 ２Ｆ 市民ＩＴセンター
【飛騨会場】飛騨・世界生活文化センター 食遊館 ２Ｆ会議室

※講座内容等の詳細は本会ホームページ（http://www.chuokai-gifu.or.jp/）でご確認下さい。
お問い合わせは情報チーム（058-277-1102）まで。

事務局だより

環境対策支援セミナーにご参加下さい

中央会では、「環境対策支援セミナー（３回シリーズ）」を開催しています。第１回目は「国内クレジット制度の概要と支援策」についての説明会を開催しました。

そこで、第２回目は地球温暖化をめぐる岐阜県の動向を説明するほか、省エネ実践事例の紹介としてCo2削減に取り組まれている企業からの事例発表会を行います。詳細は別途ご案内いたしますので、是非ご参加下さい。

お問い合わせは、広報チーム（058-277-1103）まで。なお、11月下旬にはCo2削減に取り組む現場を見ていただく企業視察を予定していますので、こちらもご参加下さい。

○第２回「取組事例発表会」
【日時】１０月２９日(木) 13:30～15:30
【場所】県民ふれあい会館 レセプションルーム

消費者向け電子商取引実態調査の実施について

経済産業省では、急速に拡大しているインターネットを用いた販売形態の変化を的確に把握することを目的に「平成21年消費者向け電子商取引実態調査」を実施します。

経済産業省として初めて全産業を対象に調査を実施するもので、本年10月１日現在で全国の消費者向け電子商取引を行っている企業・事業者が対象となります。該当企業には９月末より調査票が送付されますので、趣旨をご理解いただき、調査票の提出にご協力をお願いいたします。

新規高卒予定者等の公正な採用選考をお願いします

岐阜労働局より新規高等学校卒業予定者等の就職の機会均等を確保するため、次の事項についてご留意下さい。

- 応募者の適性と能力を基準とした公正な採用選考をお願いします。
- ９月16日は新規高等学校卒業予定者の採用選考開始日です。
- 応募書類は「全国高等学校統一応募書類」を使用しましょう。
- 新規学卒者以外の応募については「ＪＩＳ規格の様式に基づいた履歴書」を使用しましょう。
- 就職差別を意図した又は就職差別につながるおそれのある身元調査を行うことは、公正な採用選考を求める目的に反するものです。

お問い合わせは、岐阜労働局（058-263-5563）、
又は最寄りのハローワークまで。

岐阜大学フェアのお知らせ

中央会が後援する「岐阜大学フェア」が10月30日～31日の２日間、大学構内で開催されます。

同フェアは、岐阜大学の教育・研究事例等の一端を広く一般に紹介することで、学生の好奇心や探究心の向上、産学連携や地域連携の推進などを期待して実施されるものです。工学部を中心に研究室の見学や企業等を対象に大学が持つ特許技術等の説明会（30日）などが行われます。

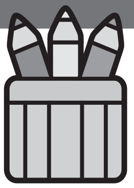
大学の技術を活用したい企業の皆様は、ヒントを探しに訪問されてはいかがですか。

職場環境改善セミナーのご案内

中央会では、「職場環境改善セミナー」を開催します。第１部はワーク・ライフ・バランスの必要性や職場風土改革についての取組事例の発表、また、第２部では労働時間制度の基本原則、制度の概要、職場の健康管理、助成金等の解説を行います。多数のご参加をお願いいたします。

お問い合わせは、労働支援チーム（058-277-1103）まで。
【日時】９月２８日(月) 13:30～15:30
【場所】県民ふれあい会館 レセプションルーム

中央会日誌



＜8月21日～31日＞

- 21日　岐阜地方最低賃金審議会（岐阜合同庁舎）
- 22日　岐阜県米菓工業(協)・創立60周年記念式典（岐阜都ホテル）
- 24日　中小企業経営改革支援事業審査委員会（県民ふれあい会館）
- 28日　ぎふ清流国対・ぎふ清流大会開催決定総決起大会（岐阜メモリアルセンター）
　　　岐阜県産業人材育成連携推進協議会・幹事会（ワークプラザ岐阜）

＜9月１日～20日＞

- 4日　雇用均等行政協助員及び子育てしやすい職場づくり推進協力員会議（岐阜合同庁舎）
- 15日　都道府県中央会事務局代表者会議（全国中央会）
- 17日　特定最低賃金専門部会・合同会議（岐阜合同庁舎）

商工中金から
大切なお知らせ。

商工中金は新たなセーフティネット貸付制度により皆さまをサポートしています。

危機対応業務(損害担保付貸出・ツーステップローン)について

商工中金は災害発生や経済・金融秩序の混乱等の危機時に法定指定金融機関として中小企業・中堅企業の方々の金融円滑化に向けた融資を行っています。

中小企業の皆さまへ

最近の経営環境や金融環境の変化、災害等で影響を受けている方を積極的に応援します。

中堅企業の皆さまへ

国際的な金融秩序の混乱により影響を受けている方を積極的に応援します。

担保が不足している事業者の方についても、中長期的に業況回復が見込まれるなどを十分に検討した上で、無担保の取扱いにも弾力的な対応を行っていきます。

※中小企業・中堅企業の範囲については商工中金にお問い合わせください。

「損害担保付貸出」とは
日本政策金融公庫の一部補償を受けて中小企業・中堅企業等の必要資金をご融資するスキームです。

「ツーステップローン」とは
日本政策金融公庫から財政投融資貸付等を原資としたバックファイナンスを受けて中小企業・中堅企業等の必要資金をご融資するスキームです。

人を思う。未来を思う。
商工中金
岐阜支店
〒500-8828 岐阜市若宮町9-16 ☎058(263)9191

中央会では、各種融資制度の紹介等を行っております。商工中金では、ご紹介した危機対応業務(損害担保付貸出)をはじめ、中小企業庁や全国中央会と連携して、政府の経済危機対策である「ものづくり中小企業支援策」の採択者を対象にした融資制度も創設しました。
詳しくは、商工中金岐阜支店、又は中央会(058-277-1100)までお問い合わせ下さい。

この広報紙は岐阜県からの助成を受けています。